

きホール虹 開館20周年



町には多くの合唱団体があり、子どもから大人まで絶えず合唱に触れる機会があります。町民会館わたむきホール虹はその大きな拠点となっています。各団体の練習や演奏会はもちろん、年に1度行われる「わたむき合唱祭」など、合唱を通じた交流の場としても活用されています。

合唱のまち日野町



わたむき合唱祭

町内で活躍する各合唱団体の協力を得て、芝居仕立てで進行するなどの工夫がされ、「見ても楽しい合唱」のイベントとなっています。

平成5年1月10日に開館して以来、町の文化、芸術活動の拠点として親しまれている町民会館わたむきホール虹が今年、開館20年を迎えました。町民の皆さんが「楽しみながら学ぶ生涯学習の場」となることをめざして開館し、県内でも随一の音響設備を備え、「本物」の芸術に触れる

場として、また講座や教室など皆さんが集い、交流する場として利用されています。町民の方が主催者として活躍するイベントなど「このホールにしかできないこと」がたくさんあります。この20年間取り組んできた斬新で、个性的な事業を紹介します。



しのざきやすお ▲篠崎靖男氏

オーケストラ・ムジカ・チェレステ

町民会館わたむきホール虹がプロデュースを行い、ロンドン在住の指揮者篠崎靖男氏のもと2年に1度、演奏家が集まって結成する特殊なオーケストラです。

町民会館わたむきホール虹のオーブニング記念事業は世界的に有名な「ドレステン室内オーケストラ」の公演でした。これを皮切りに、国内外の管弦楽団を迎え、優れた音響施設だからこそ満足できるクラシックのイベントを数多く行っています。また、クラシックをより楽しむための講演会なども行われており、クラシックを身近に感じることができます。

クラシックを身近に



新しい発想で

ホール内で飲食ができることなど開館当時から他のホールにはない新しい発想でイベントや企画を実施しています。

ホールの照明音響技術を駆使した「わたむきお化け屋敷」やホールを飛び出し、古民家で行うギターコンサート「フォークジャンボリー」などさまざまな特徴あるイベントを実施しています。



わたむきお化け屋敷

怖すぎて途中で退場する人も多数いるというこのイベント。例年2～3時間待ちの大盛況となっています。日本一怖いお化け屋敷をめざしています。

文化美術鑑賞ギャラリー



この20年間、ロビーで絵画、写真、書道、陶芸、工芸などさまざまな芸術家の方の作品を紹介し続けてきた「美術鑑賞ギャラリー」。このようなギャラリーを続けているホールは県内でも唯一です。いつ訪れても本物の文化・芸術に触れられるようこだわっています。

わたむきホール虹ギャラリー20周年企画展

6月1日(土)～16日(日)の間、これまでに展示された作品展の中から1点ずつを集めて開催します。入場は無料です。

活動拠点があるから 続けられる

町民会館わたむきホール虹では、文化に親しんでいただく機会になればと開館当初から「虹の文化講座」を実施してきました。そして、その講座の卒業生の方がたくさんサークルを作ってくれました。

今回は、開館当初の文化講座からサークル活動が始まった「日野ダンスクラブ」の皆さんにお話を伺いました。

日野ダンススクラブ(加納半史郎会長)は「楽しく社交ダンスを踊ろう」と毎週水曜日に活動をされています。

メンバーは地元日野の方を中心に、東近江市や甲賀市な



ど近隣市町からも集まっておられます。加納会長は「今まで20年間続けてこられたのは、わたむきホール虹という身近で、社交ダンスをするのに最適な活動の拠点があったことが一番大きいですね」と話してくださいました。サークルが始まったときは、5、6人だったメンバーも今では16人に増え、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しみながら活動されています。

ダンスを指導されている三谷さんは「いろいろな場所で指導していますが、このホールは職員の皆さんが親切でさまざまな配慮をしてくださるのでありがたいです」と話してくださいました。

